

こんにちは、独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA：エルカ）です。

研究課題の進捗管理・助言・指導を行っているプログラムオフィサー（PO）が、
推進費申請のコツや工夫、注意すべきポイント等を連載でお伝えしています。
令和 8 年度新規課題の応募に向けて、ぜひご活用ください！

■合格への 3 つのカギ！審査員が「必要性・有効性・効率性」を重視する理由

環境研究総合推進費の第一次審査では、
あなたの提案が「必要性・有効性・効率性」3 つの観点で厳しく評価されます。

1. 必要性：なぜ、その研究が必要なのか？

科学的、技術的意義、そして環境政策上の意義。

環境省の政策課題を踏まえ、なぜこの研究が今、求められているのかを明確に示してください。
時代のニーズや既存研究との違いを具体的に記述することで、説得力が増します。

2. 有効性：どんな成果が期待できるのか？

この研究から得られる成果（アウトカム）が、
日本の環境政策にどのように貢献するのかを具体的に記述してください。
「研究を終えた後、社会がどう変わるのか？」をイメージできるように、
具体的な目標と成果を明確にすることが重要です。

3. 効率性：その予算、最大限に活かしますか？

研究の目的を達成するために、提案された予算が最も効果的に使われることを示さなければなりません。
無駄のない予算配分や適切な研究体制は、研究の成功への本気度を示すものです。

これら 3 つの観点は、どれか一つが優れていても、他が疎かになっていては意味がありません。
3 つ全てをバランス良くアピールすることが、審査員の心を掴み、
第一次審査を突破するための重要なポイントです。

今回は「審査の観点」についてのお話でした。

第 2 回公募説明会（https://youtu.be/_D8yqaWW0rg）及び
推進費の概要（<https://youtu.be/hhPr4gKmXuY>）で詳細にお話しています。

次回からは 3 回に分けて「必要性」「有効性」「効率性」についてを配信の予定です。
楽しみにお待ちください。

※本連載では各 PO からのメッセージを連載でお届けしております。
文体や表現方法に違いがある場合がございます。

多くの皆さまの、環境政策へ貢献する研究提案を心よりお待ちしております。

公募期間：9 月 8 日（月）～10 月 10 日（金）14 時

<https://krs.bz/erca/c?c=49&m=286&v=507a1e1e>

【公募全般に関するお問合せ先】

suishinhi-koubo@erca.go.jp

件名の先頭に【公募問合せ】と記入していただけますと幸いです。

■独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA）

環境研究総合推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番

ミューザ川崎セントラルタワー9 階

■メールマガジン配信停止について

配信停止を希望される方は、次の配信解除フォームよりお申込みください。

<https://krs.bz/erca/m?f=187>

※このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

※このメールに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

<https://www.erca.go.jp/erca/mail/index.php?conf=suishinhi>